

交通結節点におけるサインの連続性に関する調査 (1)

池田 岳史*

Investigation about the continuity of the sign in a transit center (1)

Takeshi IKEDA

In this research, at JR Hiroshima Station and JR Okayama Station, the route was set up and investigation about the continuity of a sign was conducted. At JR Hiroshima Station, the sign of the route I exists continuously. However, by the route II, a Shinkansen exit and an underground passage have few signs. At JR Okayama Station, the station square of the route I has few signs, and a sign exists in the underground passage of the route II continuously. At JR Hiroshima Station, there is much duplication of sign information and a user may get confused.

Keywords: Sign, Sequence, Station

1. 研究の目的

ターミナル駅空間は、鉄道利用者のみならず、その他の交通機関との乗り換え、駅周辺に整備された公共施設、商業施設の利用等多様な利用者が存在する。これらの駅利用者の多くは、日常的な利用者であるが、観光客、出張者といった不慣れな利用者も存在する。このような利用者の多くは、位置同定、経路選択の手掛かりとして誘導サイン、位置サイン、案内サイン等既設のサインを利用するが、都市公共空間の中でもターミナル駅空間は、多数の施設や利用者を対象とした広告物等視覚にもたらされる情報も多様かつ膨大である。これらの情報の中から必要な情報を利用者へ選択、抽出させることで円滑に誘導することは、サインの持つ最も重要な役割である。これまでの一連の研究^{1,2)}において、駅構内、駅前広場と周辺施設までの経路を含むターミナル駅空間においてサインの設置状況と連続性について調査を行ってきたが、本稿では、平成22年度より行っている一連の調査の結果から、JR広島駅及びJR岡山駅におけるサイン設置状況と連続性について述べる。

2. 研究方法

本稿において調査対象としたJR広島駅は山陽新幹線、在来線の山陽本線、呉線、芸備線、可部線が乗り入れるターミナル駅であり、広島市中心部や広島港、宮島方面を結ぶ路面電車である広島電鉄が南口広場内に乗り入れている他、南口を中心に市内バス、新幹線口には高速バスが数多く乗り入れている。一方JR岡山駅は、山陽新幹線、在来線の山陽本線、宇野線、津山線、吉備線が乗り入れるターミナル駅であり、岡山市内の路面電車である岡山電気軌道が、東口駅前広場先の桃太郎大通りに発着している他、東口を中心にバスが乗り入れている。

本研究ではこれまでの調査と同様に、対象とした両駅の駅構内空間及び駅前広場空間について、駅利用者を想定し、改札口から目的地までの経路上に設置されたサインと空間変化を比較するた

* デザイン学科

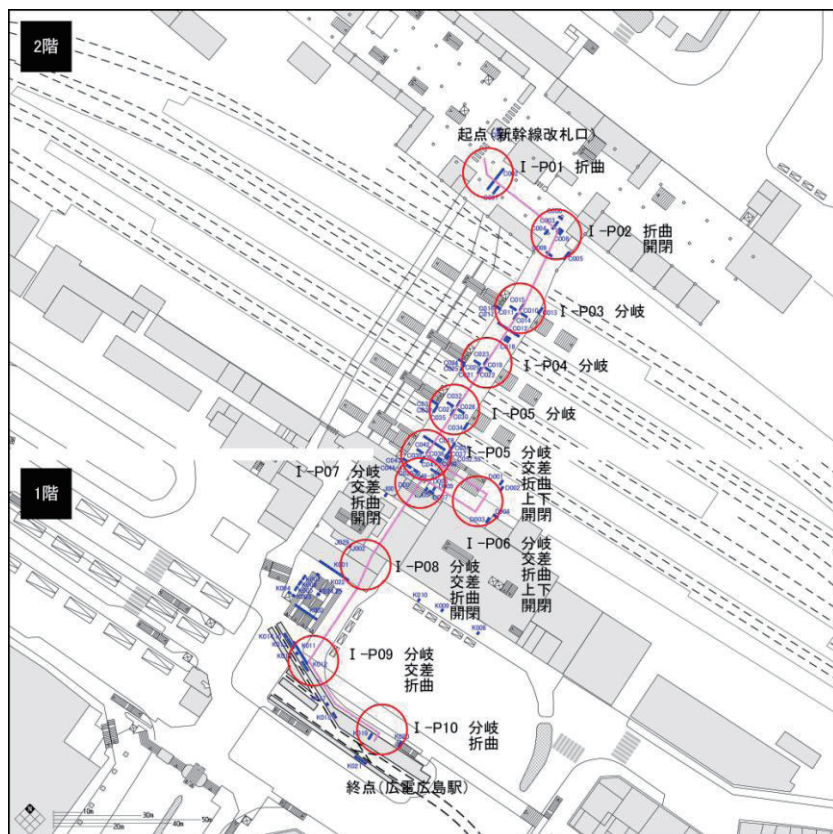


図1 ルートI上のサイン設置状況と空間変化 [JR広島駅]

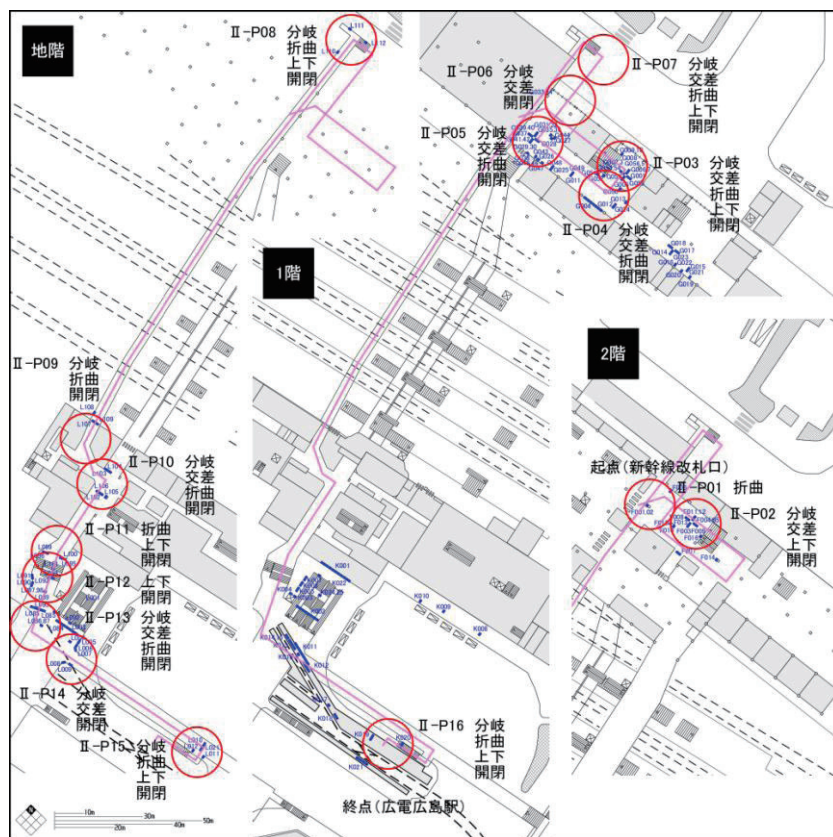


図2 ルートII上のサイン設置状況と空間変化 [JR広島駅]

め、空間構成調査、既設サイン調査、目的地及び経路の設定、シーケンス空間変化と既設サインの連続性分析の順に調査を行った。なお、本研究ではこれまでと同様、誘導、位置、案内、規制といった目的地への移動を伴う利用者の行動に直接働きかけるサインをサインと定義し、広告物等を含まないこととし、JR広島駅では広島電鉄の広島駅電停までの経路、JR岡山駅では岡山電気軌道の岡山駅前電停までの経路における調査結果を中心に述べることとする。

3. 調査結果

本調査において抽出されたJR広島駅の既設サインの数は、駅構内(ラチ内)115、(ラチ外)103、新幹線口広場37、南口広場42、地下(南口、連絡通路含む)112の計409個、またJR岡山駅の既設サインの数は、駅構内(ラチ内)43、西口広場2階18、東西連絡通路31、東口広場55、東口地下(地下街、地下通路を含む)56の計182個となった。

[広島駅のルート設定] JR広島駅については、案内に従い新幹線コンコースから在来線跨線橋を通過し、1階に降り、南口改札から広島電鉄広島駅電停に至るルートI、誤って

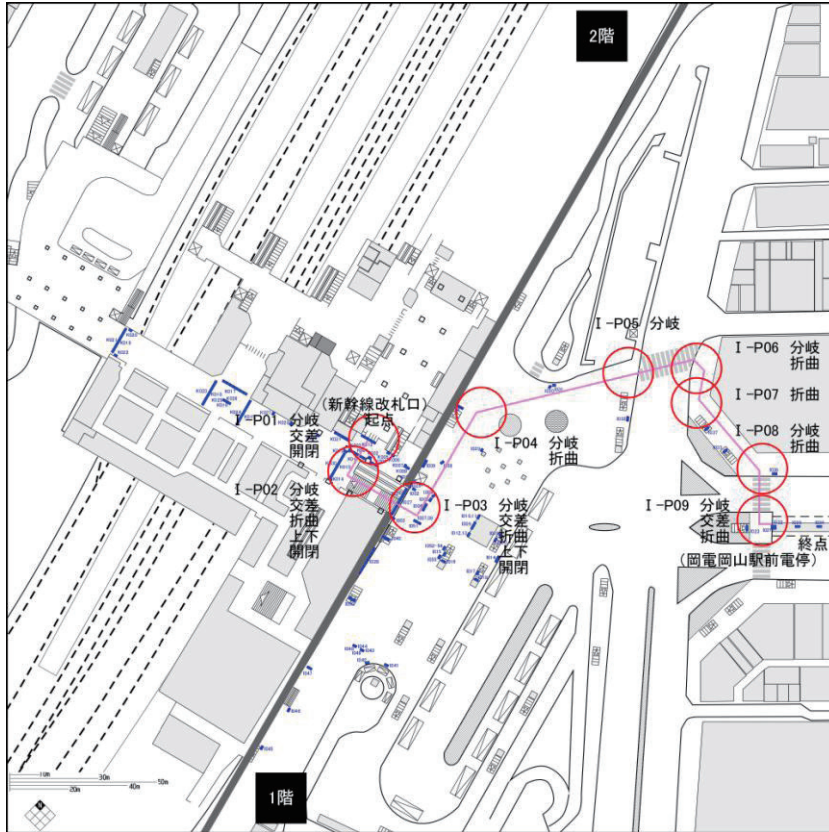


図3 ルート I 上のサイン設置状況と空間変化 [JR 岡山駅]

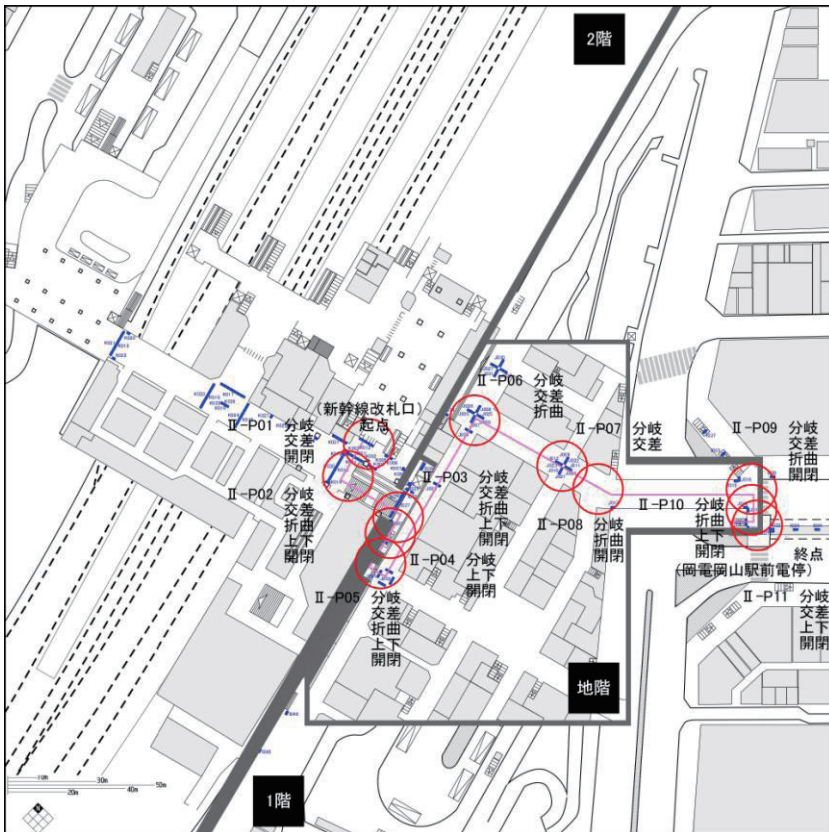


図4 ルート II 上のサイン設置状況と空間変化 [JR 岡山駅]

跨線橋から出口へは数度の折曲 (U ターンを含む) を経ることとなるが、分岐や交差が少ないため、比較的容易に南口に至ることができると予想される。南口を出た後は、広場内に電停が設けられているためか、地上部分にはサインが少ない。

[広島駅ルート II] 起点 P-01 には、南口への案内図が設置されている。この案内図は、以降 P-03, 05 にも設置されており、広島駅における主要な出口である南口への経路が、比較的分かりづらく、迷う利用者が少なからず存在することが予想される。新幹線口駅前広場から地下の自由通路への入口となる P-07 には、周辺案内図に張り付ける形で、広島電鉄線 (路面電車) を示すサインが設置されているが、以後、南口の地下 P-11 (電車と表記), P-13 まで、広島電鉄線 (路面電車) を示すサインは存在しない。また南口地下空間からは、多数のサインが存在する。

[岡山駅のルート設定] JR 岡山駅については、2 階東西連絡通路の新幹線改札口から、1 階東口に至るルートは共通とし、駅前広場を通り、桃太郎大通りの岡山電気軌道岡山駅

表3 ルートI上のサイン掲載情報 [JR 岡山駅]

分節点番号	サイン番号	種別	設置形態	方向	常設仮設	内容
I-P01	K001	誘導	吊下	正面	常設	エレベーター 東口、ももたろ親交センター、コインロッカー、バス、タクシー、路面電車 西口、案内所、バス、きっぷうりば、タクシー 出口駅ビルビクト
	K002	誘導	壁付	正面	常設	エレベーター 東口、案内所、バス、きっぷうりば、タクシー 出口駅ビルビクト
	K004	案内・誘導	自立	正面	常設	総合案内板 東口、西口、バス乗場と路線案内図 岡山駅東口案内と路面電車路線案内図 東口、西口、目的検索案内
	K005	案内	壁付	背面	常設	新幹線時刻表
I-P01-02	K006	案内	壁付	背面	常設	ご案内
	K012	位置	吊下	背面	常設	新幹線のりば、ビクト
I-P02	K003	誘導	壁付	右面	常設	さんすて岡山駅前(お手洗、男女ビクト、車いすビクト) 西口、バス、タクシー、在来線(中央口)、きっぷうりば、案内所、ビクト×4 新幹線、ビクト
	K010	誘導	吊下	右面	常設	さんすて岡山駅前(お手洗、男女ビクト、車いすビクト) 西口、バス、タクシー、在来線(中央口)、きっぷうりば、案内所、ビクト×4 新幹線、ビクト
	K011	誘導	吊下	背面	常設	在来線(中央口)、きっぷうりば、案内所、ビクト×2 新幹線、ビクト
I-P03	K014	案内	壁付	正面	常設	新幹線のりば、ビクト 西口、在来線(中央口)、きっぷうりば、案内所、ビクト×2
	K013	誘導	壁付	正面	常設	西口、在来線(中央口)、きっぷうりば、案内所、ビクト×2 東口
	R01	位置・誘導	吊下	正面	常設	コインロッカー、サンフェスタ岡山(お手洗) 東口、バス、路面電車、タクシー ももたろ親交センター、地下街(岡山一善街)
I-P03	R02	案内	自立	左面	常設	駅ビル5F案内図
	R03	位置・誘導	壁付	右面	常設	東口、西口、エレベーター
	R04	誘導	壁付	正面	常設	路面電車のりば
	R05	誘導	壁付	正面	常設	一般乗降場
	R06	案内・誘導	自立	正面	常設	総合案内板
	R07	誘導	吊下	右面	常設	東口、岡山駅前通階段案内、岡山駅東口案内図、東口広場案内図
	R08	誘導	吊下	右面	常設	バスのりば
	R27	位置・誘導	吊下	背面	常設	タクシーのりば さんすて岡山駅前(お手洗、男女ビクト、車いすビクト) サンフェスタ岡山F(お手洗、男女ビクト、車いすビクト) 地下街(岡山一善街) JR岡山駅、東西連絡通路 西口、岡山コンベンションセンター、岡山市デジタルミュージアム
I-P03-04	R29	誘導	自立	右面	常設	タクシーのりば
	R38	誘導	吊下	背面	常設	JR岡山駅、東西連絡通路
I-P04	R30	誘導	壁付	左面	常設	JR岡山駅、東西連絡通路
I-P04-05	R31	誘導	壁付	左面	常設	路面電車のりば
I-P05						
I-P06						
I-P07						
I-P07-08	R33	誘導	吊下	正面	常設	JR岡山駅、岡山一善街
	R37	誘導	吊下	背面	常設	PECOA
I-P08	R36	誘導・案内	自立	正面	常設	JR岡山駅、岡山城、徳島藩-岡山県立博物館、天満屋バスターミナル、岡山県庁-岡山県立図書館 岡山市方面、岡山シンフォニーホール、岡山市民会館、西川緑道公園 岡山県案内図、岡山駅前案内図
	R21	位置	壁付	正面	常設	岡山駅前通階段案内図
I-P09	R22	案内	壁付	正面	常設	路面電車路線案内図
	R23	誘導	吊下	右面	常設	JR岡山駅、岡山一善街
	R35	位置	自立	正面	常設	電車のりば

前電停に至るルート I, 地下街, 地下通路を
通り, 岡山電気軌道岡山駅前電停に至るル
ート II の 2 つのルートを設定した。両ルートの
経路及びサインの設置状況を図 3,4, 両ル
ート上のサインの掲載情報を表 3,4 に示す。

[岡山駅ルート I] 起点 P-01 においては, 正面の大型吊下サインに路面電車の表記, 周辺の自立型案内板にも駅を中心とした案内図が存在する。東西連絡通路に出た後, 東口方向へ階段を降りた P-03 にも同様に, 正面の大型吊下サインに路面電車の表記, 周辺の自立型案内板にも駅を中心とした案内図が存在するが, 駅前広場内のルート上は, 様々な方向への移動が可能であるにも関わらず, P-04~05 間の柱上に, 非常に小型のサインが存在するのみである。その後, 駅前広場に面した通りを横断し, 分岐, 折曲を繰り返す, P-08 に案内図, この案内図越しに P-09 の終点, 岡山電気軌道岡山駅前電停となる。経路となる東口駅前広場北側は, バス, タクシーのりば等も南側に設置されていることから, 比較的可見通しが良く, 案内図等で事前に位置を把握していれば, 迷うことは少ないものと考えられるが, 広場上のサインが, 非常に少ない印象を受けた。

[岡山駅ルート II] 起点 P-01 から P-03 までは, ルート I と同様のルートとなるが, P-04 から地下へ降りる。この P-04 にも, 地下に降りた P-05 にも, 路面電車の表記と方向が示されている。この後, 地下街, 地下通路のルート上の主要な分節点には, P-08 を除き, 路面電車を示すサインが存在する。折曲, 地上への移動を伴う P-10 を経て, 終点である岡山電気軌道岡山駅前電停となる。岡山駅東口の地下街には, 視認性に優れた吊下型サインが, 主要な分岐, 交差空間に設置されており, サイン情報を用いたスムーズな移動が可能である。

[JR 広島駅及び岡山駅の新幹線コンコース (ラチ内) のサイン設置状況] JR 広島駅, 岡山駅と

表4 ルートII上のサイン掲載情報 [JR 岡山駅]

分節点番号	サイン番号	種別	設置形態	方向	常設仮設	内容
II-P01	K001	誘導	吊下	正面	常設	エレベーター 東口、ももたろ親交センター、コインロッカー、バス、タクシー、路面電車 西口、案内所、バス、きっぷうりば、タクシー 出口駅ビルビクト
	K002	誘導	壁付	正面	常設	エレベーター 東口、案内所、バス、きっぷうりば、タクシー 出口駅ビルビクト
	K004	案内・誘導	自立	正面	常設	総合案内板 東口、西口、バス乗場と路線案内図 岡山駅東口案内と路面電車路線案内図 東口、西口、目的検索案内
	K005	案内	壁付	背面	常設	新幹線時刻表
II-P01-02	K006	案内	壁付	背面	常設	ご案内
	K012	位置	吊下	背面	常設	新幹線のりば、ビクト
II-P02	K003	案内	壁付	右面	常設	さんすて岡山駅前(お手洗、男女ビクト、車いすビクト) 西口、バス、タクシー、在来線(中央口)、きっぷうりば、案内所、ビクト×4 新幹線、ビクト
	K010	誘導	吊下	右面	常設	さんすて岡山駅前(お手洗、男女ビクト、車いすビクト) 西口、バス、タクシー、在来線(中央口)、きっぷうりば、案内所、ビクト×4 新幹線、ビクト
	K011	誘導	吊下	背面	常設	在来線(中央口)、きっぷうりば、案内所、ビクト×2 新幹線、ビクト
II-P03	K014	案内	壁付	正面	常設	新幹線のりば、ビクト 西口、在来線(中央口)、きっぷうりば、案内所、ビクト×2
	K013	誘導	壁付	正面	常設	西口、在来線(中央口)、きっぷうりば、案内所、ビクト×2 東口
	R01	位置・誘導	吊下	正面	常設	コインロッカー、サンフェスタ岡山(お手洗) 東口、バス、路面電車、タクシー ももたろ親交センター、地下街(岡山一善街)
II-P03	R02	案内	自立	左面	常設	駅前ビル5F案内図
	R03	位置・誘導	壁付	右面	常設	東口、西口、エレベーター
	R04	誘導	壁付	正面	常設	路面電車のりば
	R05	誘導	壁付	正面	常設	一般乗降場
	R06	案内・誘導	自立	正面	常設	総合案内板
	R07	誘導	吊下	右面	常設	東口、岡山駅前通階段案内、岡山駅東口案内図、東口広場案内図
	R08	誘導	吊下	右面	常設	バスのりば
	R27	位置・誘導	吊下	背面	常設	タクシーのりば さんすて岡山駅前(お手洗、男女ビクト、車いすビクト) サンフェスタ岡山F(お手洗、男女ビクト、車いすビクト) 地下街(岡山一善街) JR岡山駅、東西連絡通路 西口、岡山コンベンションセンター、岡山市デジタルミュージアム
II-P03-04	R29	誘導	自立	右面	常設	タクシーのりば
	R38	誘導	吊下	背面	常設	JR岡山駅、東西連絡通路
II-P04	R30	誘導	壁付	左面	常設	JR岡山駅、東西連絡通路
II-P05	R31	誘導	壁付	左面	常設	路面電車のりば
II-P05-06						
II-P06						
II-P06	J001	誘導	吊下	正面	常設	市役所方面・本館、徳島大通り-路面電車、レスタラン(乗場の小前)、高島屋 津島方面、岡山駅前地下街、東西連絡通路-エレベーター、さんすて広場、電車ビクト、エレベータービクト
	J002	誘導	吊下	正面	常設	市役所方面、岡山駅前地下街、市役所方面、トシロ男表ビクト、トシロ車いすビクト
	J003	誘導	吊下	正面	常設	東西連絡通路エレベーター、エレベータービクト
	J004	誘導	吊下	正面	常設	岡山駅、さんすて南館-北館
	J005	誘導	吊下	正面	常設	徳島大通り
	J006	誘導	吊下	正面	常設	徳島大通り、路面電車
	J007	誘導	吊下	背面	常設	東西連絡通路エレベーター、イルカの広場、トシロビクト×7
	J008	誘導	吊下	背面	常設	西口方面、さんすて南館、電車ビクト×3
	J009	誘導	吊下	正面	常設	コインロッカー、ATMコーナー、ビクト×2
	J010	誘導	吊下	正面	常設	市役所方面、イルカの広場、ももたろ親交センター、ビクト×5
	J011	誘導	吊下	右面	常設	徳島大通り、路面電車
II-P07	J012	誘導	吊下	右面	常設	西口方面、さんすて、岡山駅前地下街、路面電車
	J021	誘導	吊下	背面	常設	市役所方面、イルカの広場、ももたろ親交センター、ビクト×5
	J022	誘導	吊下	背面	常設	コインロッカー、ATMコーナー、ビクト×2
	J023	誘導	吊下	左面	常設	西口方面、さんすて、岡山駅前地下街、路面電車
II-P08	J024	誘導	吊下	左面	常設	徳島大通り、路面電車
	J013	案内	壁付	右面	常設	地下街方面
	J015	誘導	壁付	左面	常設	駅前方面
II-P09	J016	誘導	壁付	背面	常設	JR岡山駅、地下街
	J017	誘導	壁付	左面	常設	JR岡山駅、地下街
	J018	誘導	壁付	右面	常設	駅前方面西出口 駅前方面東出口 JR岡山駅、地下街、路面電車、本館方面
II-P09-10	J014	誘導	壁付	右面	常設	路面電車、本館方面
	J018	誘導	壁付	右面	常設	JR岡山駅、地下街
	J019	誘導	壁付	左面	常設	路面電車、本館方面 JR岡山駅、地下街
II-P10	J020	誘導	吊下	背面	常設	JR岡山駅、駅前方面
	R21	位置	壁付	正面	常設	本館方面
II-P11	R22	案内	壁付	正面	常設	岡山駅前通階段案内図
	R23	誘導	吊下	背面	常設	路面電車路線案内図 JR岡山駅、岡山一善街

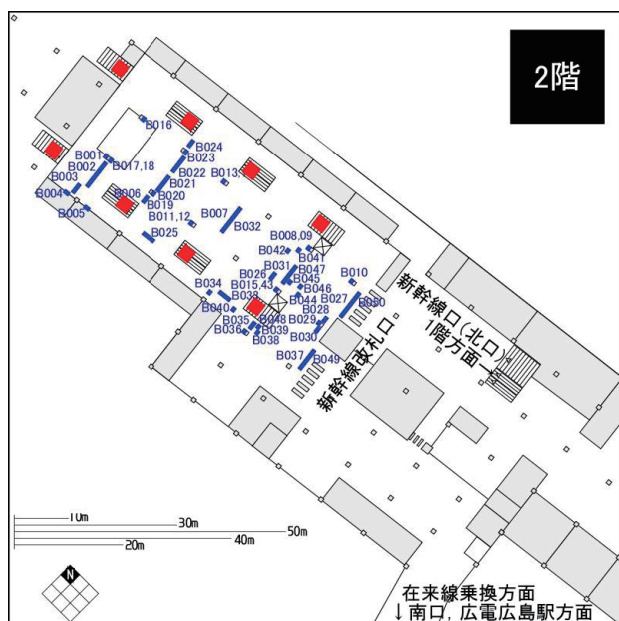


図5 新幹線ラチ内のサイン設置状況 [JR 広島駅]

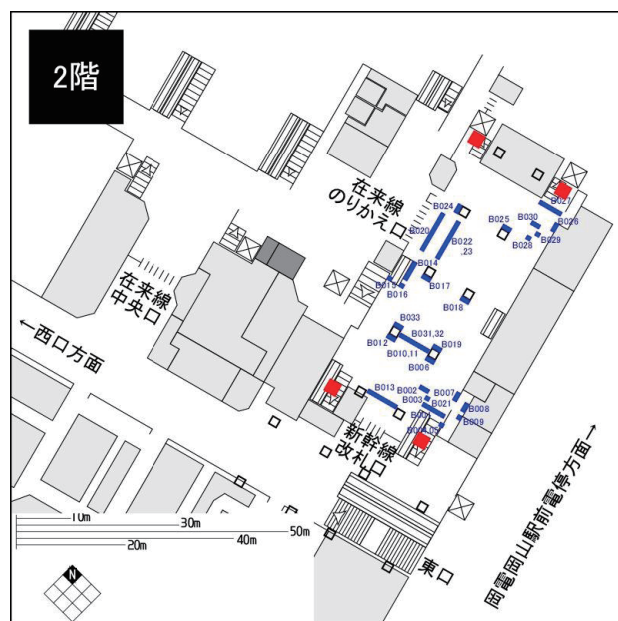


図6 新幹線ラチ内のサイン設置状況 [JR 岡山駅]

もにホーム、コンコース間の昇降空間には、多駅と同様に誘導サインを設置しているが、特に広島駅については、改札口近辺に非常に多数のサインが設置されている。設置形態も常設の吊下、壁付、床面に加え、仮設の自立、壁付と多様で、情報が整理されず、同様の情報を多数提示している。これに対して岡山駅は、サインが更新されており³⁾、壁面は黒背景、吊下は青背景と異なるものの、情報が整理され提示されている(図5,6)。

4. まとめ

本稿では、ターミナル駅における一連の調査から、JR 広島駅、JR 岡山駅についての調査結果から、設定ルート沿いのサイン連携について述べた。広島駅で設定された新幹線下車から広島電鉄線への乗り換えルートでは、両ルートともに、ルート上にサインが比較的多い場合も、乗換に関する情報は少ないことがわかった。また、一般的ではないルートⅡについては、「このルートが分かりにくい」、又は「間違える利用者が多い」ためか、新幹線コンコースラチ内に多くの乗り換えを示すサインが設置されていることが印象的であった。岡山駅では、地上を通るルートⅠでは、駅前広場空間にほとんど誘導サインが設置されておらず、地下街、地下通路については、主要な分節点に誘導サインが設置されていた。その他、サインの設置状況に関する調査結果から、広島駅では、同一空間においてのサイン重複(情報の重複)が多数みられることがわかった。また、地下空間は、一般的にサインが多い傾向が見られるが、広島駅南口の地下空間においては、この傾向が顕著であることも明らかとなった。

謝辞： 本研究は科研費(22615044)の助成を受けたものである。

注釈： 1) 池田岳史,川合康央,益岡了,和田章仁:都市空間における空間構成要素の連続性と人間行動に関する研究-その1~4-,日本建築学会,近畿支部研究報告集 48~51号,計画系,2008~2011

2) 池田岳史,川合康央,益岡了:「駅空間における空間変化とサインの連続性に関する研究 -その1~2-」日本デザイン学会 デザイン学研究 第57,58回研究発表大会概要集 2010,2011

3) 平成22年11月11日に行った西日本旅客鉄道(JR西日本)担当者を対象としたヒアリングから、近年サインが更新されたことが明らかになっている。

(平成24年3月31日受理)